

令和6年度FTCアクセラレーションプログラム
申請事業概要

盗難・獣害対策に向けたAI威嚇警報機の実装



住み続けられるふる里 安全安心なまちづくり

株式会社 日本遮蔽技研

解決したい社会課題とその背景

解決したい社会課題

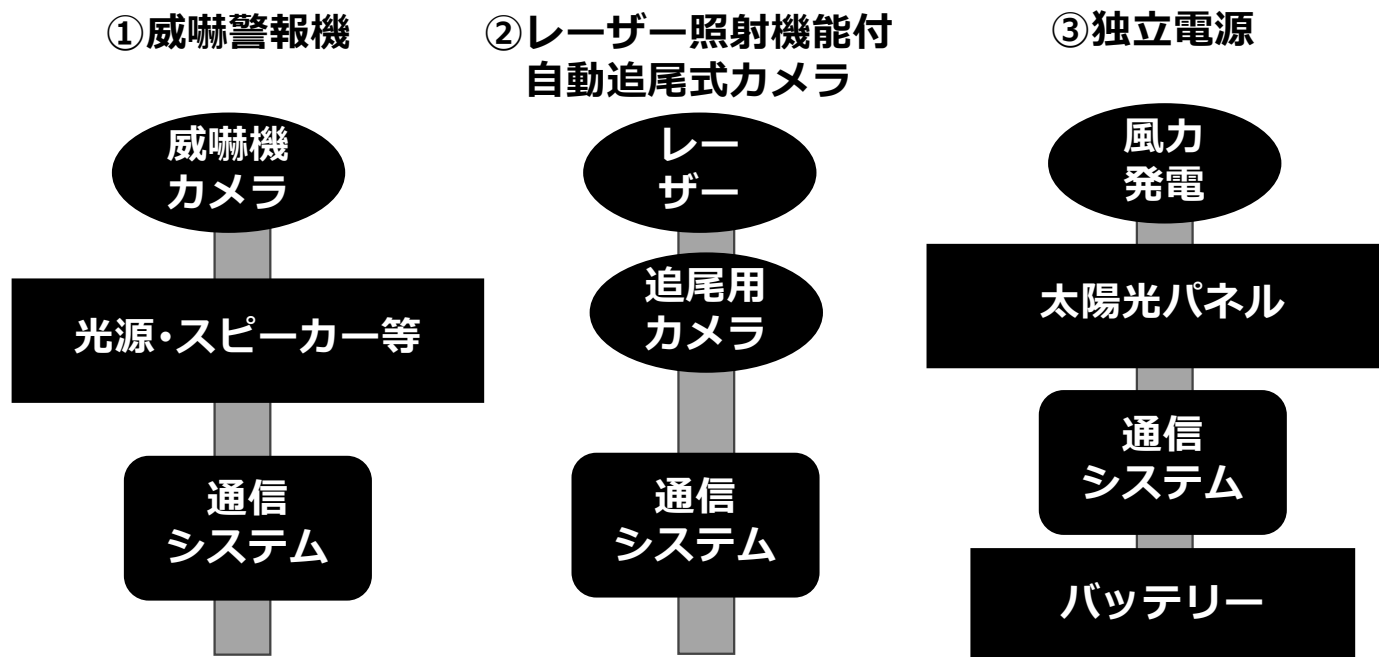
- 人口減少が進むなか、保安や監視はヒトの目視情報頼み
- 見守りや監視の自動化を実現したい
- 早期警戒警報から一步前進させ威嚇警報機により、鳥獣や侵入者の追い払いを自動化したい
- 住み続けられるふる里と安全安心なまちづくりに貢献していきたい

背景

- 畜産業での鳥獣害被害は家畜の感染被害
- 一度感染症が出ると全頭殺処分
- 10億円規模の被害が発生する
- 食料の自給や価格維持に直結する課題
- 太陽光発電所で銅線盗難が急増
- 損害保険から盗難特約がなくなった
- 一度の盗難で数千万から億単位の被害発生
- 廃業する事業者も出てきた
- 有効な防衛手段が不可欠となった

申請内容と計画

- 犯罪者や害獣に対して威嚇・警報を発することで被害を防止する自動装置の開発と実証試験。
- 試作機製造 採択～11月
- 実証試験1：岩手県内牛舎 11月
- 実証試験2：福島県内メガソーラー 12月



実施内容と成果

- 岩手県実証試験 2024年11月11日~12月11日
- 福島県内実証試験 2024年12月19日~2025年1月8日
- 各試作機の正常な作動を確認
- 鳥害に対するニーズをキャッチアップできた
- 鳥害に関して、先行して技術開発に成功した台湾企業と提携
鳥害対策装置の営業を2025年1月から開始

威嚇警報機



ハイブリッド電源



レーザー照射機能付
自動追尾式カメラ



今後の発展や福島での展開

- メーカーとして機能する新会社・日衛工業株式会社組成@大熊町
- 製品化に向けた再設計と製造の県内化・委託先の選定
- 各種製品のメンテナンスを県内化
- 会津大学との知財協議
- 大手警備会社・農業団体との連携強化
- 台湾企業との連携強化
- 導入するエンドユーザーのイニシャルコスト低減

すべて実行し社会課題を解決します